

インターネット上のコミュニケーションの特徴について

みなさんは日頃から、インターネットを使って友だちとコミュニケーションをとっていますか。SNSや無料通話アプリなどで、毎日のように友だちとおしゃべりをしている、という人もいないのでしょうか。

インターネットを使ったコミュニケーションは、文字でのやりとりが主です。そのため、顔を合わせた会話とはちょっと違った特徴があります。インターネットを使ってコミュニケーションをとる上で、こうした特徴を知っておくことはとても大切です。

正確な情報伝達が可能

インターネットを使ったコミュニケーションのすぐれているところは何でしょうか。それは、正確に情報を伝えることができる点です。例えば、待ち合わせ場所や時間の連絡など、会話では聞き間違いがおこることがあるものでも、文字にすると正確に伝えることができます。また、忘れてしまった場合でも、あとから見返すことができるのでとても便利です。

気持ちが伝わりづらいという欠点も

でも、インターネットを使ったコミュニケーションには、気持ちが伝わりづらいという欠点もあります。

私たちは普段、顔を合わせて会話をしているとき、言葉の内容だけで相手の気持ちを判断しているわけではありません。顔の表情や声の調子などの情報もふまえて判断しています。しかし、インターネットを使ったコミュニケーションでは、そうした情報がなく、文字だけで相手の気持ちを読み取ることになります。そのため、顔を合わせて会話するときと同じ感覚でやりとりしていると、相手を怒らせてしまったりすることがあるのです。

A子：私も明日〇〇に行くことになったよ！

B男：なんで来るの？

↓

A子：なんでそんなこと言うの？

B男：(えっ……、もしかして怒ってる?)

このやりとりでは、B男は「どうやって(どんな交通手段を使って)来るの?」と聞いたつもりだったのですが、A子は「なんでA子が来るの?(来ないでほしい)」と言われたと勘違いして、怒ってしまいました。

まとめ

インターネットを使ってコミュニケーションをとるときは、気持ちが伝わりづらいという欠点を意識し、メッセージを送る前に必ず読み返しましょう。そして、相手がどう感じるか、自分が伝えたいことがちゃんと伝わるかを確認する習慣をつけましょう。